

# 令和3年度入試 小6市立入試 受験体験記

家で過去問をたくさん解きました。

最初の私立の入試よりは緊張しませんでした、内容は難しかったです。同じ学校の人と答え方がちがったことがわかったときは自信がなくなりかけたけど、自分なりにしっかり答えを書いたんだと思うと自信が持てるようになりました。

入試当日は、近くに友達がいてくれただけでかなり緊張はほぐれました。表や資料から必要な情報を読み取ることが少し難しく、なぜその答えになるか理由を当てずっぽうにならないように添えて証明するのが大変でした。

今年の受験生も、周りのみんなをライバルだと思って頑張ってください。(A・M)

受験の日まで頑張ってきたので、試験が終わった後すごくうれしかったです。

受験当日学校へ行くと、中学・高校生の方が道を案内してくれました。教室に入るとすごく静かでした。しかし、知らない人に「どこの小学校？」などと少し会話をすることで、緊張がほぐれました。来年もコロナがおさまらないようであれば、消毒を持っていくなどするとよいでしょう。

勉強の仕方ですが、過去問をなるべく多く解いてください。試験本番で似ている問題が出たとき、より簡単に答えることができるようになります。頑張ってください！(R・H)

受験前はとても緊張しましたが、それまでつらかったけど一生懸命勉強してきたことを思い出すと、緊張が消えていきました。

当日は案内役の人が、とても親切に接してくれました。適性検査Ⅰはとても緊張しましたが、自分なりにしっかりと解答し、終わるまで見直しを続けました。適性検査Ⅱは、今までの練習の効果もあって、

文章構成がうまくいきました。結果はどうであれ、この3年間一生懸命頑張ってきたので、自分には悔いはないです。

適性検査は知識中心の試験ではないので、とにかく過去問などを解きまくりました。そして最後の1ヶ月は、毎日塾へ行って勉強しました。途中で塾を辞めようと思ったこともありましたが、ここで辞めたらこの先つらいことがあったとき簡単に辞めてしまう人間になると思ったので、最後までやり通しました。(E・D)

私はひたすら過去問に取り組んで、適性検査に慣れるように学習しました。

受験当日は周りのみんなが賢そうに見えました。市立の先輩たちがいて、優しくて話しやすかったです。

試験を受けるときはとても緊張していたけど、一旦テストの解答を始めたら、いつも通りに解き進めることができました。それまでやってきたことを全部出せたので、結果はどうであれよく頑張れたと思います。そしてこの頑張りを、この先の学校生活や高校・大学受験に生かしたいと思います。

(M・K)

市立中学校に合格するために、できるだけ難しい問題を解き、また分からなかったところは分かるまでやるのが私の学習方法でした。加えて、5年生までは基礎知識をしっかりと勉強し、6年生になってからは理系科目と適性検査の勉強に力を入れました。受験が近づくにつれて、できるだけたくさんの学校の過去問を解き、分からないところは聞いたり調べたりしました。

受験当日は緊張しましたが、緊張で実力が発揮できなくなるといけないので、なるべくリラックスすることを心がけました。

結果が残念だったとしてもそれまでの頑張りは次の高校受験に生かすことができるし、合格すればよ

い環境で勉強することができるので、受験してよかったと思います。(H・D)

私は市立中学校に合格するために、先生からもらった過去問を解き、分からない問題は解説を読んで、どうやったら解けるようになるのかひたすら考え、似た問題を解きました。

適性検査Ⅱに向けては、本屋さんで問題集を買い、自分で1回書いてみて、どのように書いたらよいか分からないときは、その本に載っている合格者例を参考にしました。その他にも、いろいろな文章や語彙に関する本を買ってもらい、繰り返し活用しました。また、新聞も読み、文章を書く題材として『天風録』を活用しました。世界のいろいろなことが載っていたので、私にとっては読みやすかったです。

受験当日は、持って歩いている小さな本を持参し、時間があるときは少しでも先に読んでいきました。そういう本をかばんの中に入れておくと便利です。

今年市立中学校を受験する人は、自分なりにやりやすい勉強の仕方、自分のペースで勉強を頑張りたいです。私もこれからも勉強を頑張りたいです。(Y・M)

#### 内山鯉空登

最初の頃は、受験をあまく見ていました。しかし、受験期間中に入ると、親も塾も前より厳しくなり、親には、勉強しなさいと、毎日勉強ざんまいで、塾では難しい問題ばかりで、勉強をやってないときがありませんでした。そして、これはいつ終わるのかと気が気ではありませんでした。でも、別の学校で合格し、気が楽になって、もうちょっとと耐えていきました。その後は、日曜日以外全て塾に行き、8時まで残り、市立対策の2021年の東京や広島の問題を解いて頑張りました。当日、行く前に、母から応援されてやる気が上がり、自信満々で挑みました。でも、現実はそのように簡単ではありませんでした。最初の問題を解けず、その後もそのせいで、不安が高まりました。その後、父からは、いつも不

安な気持ちでいろいろと言われ、「これは、不合格かな。」と思いながら帰りました。「なんで最初を頑張らなかったんだ。」と、心の中でずっと思いました。次の日、そのことはちっとも覚えておらず、とても明るく過ごしていました。周りからは、「よう頑張った。」や「気ぬくな。」と言われつつ、普通に過ごしていました。平日、学校でも何も言わず過ごしていました。そもそも、学校で自慢すると言われていたのです。少しモヤモヤしつつ、1日が終わりました。このように、今までとは違う生活が始まります。受験をするということは、軽い気持ちではいけません。ちゃんと目標をもって、受験を決意してください。(U・R)

初めて市立の問題を解いたときは、今まで解いていたような問題と違って、どうやって解くのか分からなくて、他の算数や社会や理科よりも問題の文章が長い問題もあり、書いていることを整理して考えるのが難しく、解くのに時間がかかり、あまりできませんでした。しかし、色々な問題を解いていくうちに、他とは違う特殊な問題も、文章に出てくる数字など、大事な所に注意し、大事な所は他の所に書き抜いて写したり、表を書いて整理したりすることで、問題が解きやすくなり、だんだん他とは違うような問題も、解けるようになってきました。時間が45分だけなので、1つの問題に時間をかけて、残りの問題が解けなくなるといけないので、となりに時計を置き、時間を気にしながら解くようにしました。1つの問題に長い時間をかけていたり、問題を見てすぐに解き方が思いつかなかったりしたら、すぐにその問題をとばし、次の問題を考えるようにしました。考えたら分かるのに考える時間がなかったという問題を絶対になくするため、時間内に全ての問題を解く時間が作れるように注意しました。最後の問題が他より簡単だったこともありました。試験当日は、あまり緊張せず、どんな問題が出るか楽しみでした。解くときは時間を気にし、多分違うけど一応書いておいた問題もありました。1つ目の

試験が終わったときは、1つ目の試験をあまり深く考えないようにし、2つ目の試験へ向けて切り替えるようにしました。自分が持っていた力は試験で全て出すことが出来たと思います。(N・G)

僕は、夏休みと1月だけ市立対策の授業を受けました。12月の最後まで、塾の宿題がいそがしくて、市立の勉強をしていませんでした。1月に、父が、市立の過去問を6年分買ってきました。1月になっていまさらと思ったけれど、全部解くと、なぜか自分の中に、適性検査の解き方が入ってくるようで、おもしろかったです。塾でやる勉強(市立対策以外)も、役立ったと思います。入試では、円柱や角柱の面積の求め方、展開図などの基本的なことが出たからです。過去問を解いていて大切だと思ったことは、文章をよく読んで、何を聞かれているのかをおさえることです。普通に、落ち着いて解けば、あまり難しくないのです、説明文の文章のつながりをよく確かめることが大切だと思いました。このようなことや、塾で過去問をコピーして、持って帰って解いたりしていると、出来るようになったのです。そして、僕の試験当日は、兄をボランティアで市立までおくり、僕と父が車と電車で行きました。僕は、前日に準備していなかったため、ものさしが見つからない事件がおきました。あわててさがしたらあったけれど、予定より10分ほど遅れました。でも、父が、余裕を持って、計画をしていたので、電車には乗れました。晴れていたら、友人と一緒にランニングをするという約束でしたが、雨だったので、歩いて、少し離れた喫茶店まで行き、モーニングを食べて、会場に行きました。入試前に少し運動をすると集中しやすいことが分かりました。試験会場に着いたときは、8時50分で、僕の友達はみんな会場にいて、僕が最後に入っていました。散歩のおかげで、あまり緊張しなくてすみました。また、外から雨の音が聞こえるので、他の雑音が聞こえなくて集中できました。試験が終わって思ったことはありません。ただ、今まで勉強してきたことが発揮でき

てよかったと思います。結果はどうであれいい思い出になったとおもいます。市立の受験をするならば、運動と勉強の2つをやりながら、勉強のストレスをあまりためないようにして、本番をむかえてください。そして、緊張せず、落ち着いて問題を解き、いい結果を出すことが、市立入試の目的で、最も自分のためになると思いました。(A・T)

試験では、えんぴつけずりがけずられなかった。市立の過去問をするときは、なるべくその年に近い問題を解くようにした方が良いです。(〇〇年受験用)見直しをして、間違えていた所があったら、なぜそこを間違えたのかを考えて、他の問題に生かしましょう。長さが10cmほどの長いえんぴつを持って行きましょう。消しゴムは、小さめで、カバーケースに入っているほうが細かい所を消しやすいので良いです。受験生が集まる時は、他の人と話している人が多かったけど、持ってくるものの読み返しをする校内アナウンスや問題が書かれている受験用紙を出すときは、しんとしていました。校舎に入ると、学生がいるので、その学生の言っていることをよく聞いて、指示に従うようにしましょう。当日は雨で、靴がどろどろになってしまったので、雨の日は、足靴をはいていったほうがよいです。(M・Y)

